



令和5年4月

各 位

日本赤十字社東京都支部

支部長 小池 百合子



後援（順不同）

東京商工会議所・東京都商工会連合会・公益社団法人 東京青年会議所
東京都中小企業団体中央会・一般社団法人 東京経営者協会

災害から生き延びた命を未来に繋げるために 赤十字活動資金にご協力をお願いいたします

謹啓 陽春の候 貴社におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素から、赤十字事業につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

今年で、死者・行方不明者約10万5千人を記録し、未曾有の被害をもたらした関東大震災から100年が経ちます。それ以降、首都圏では大規模な地震が発生していませんが、首都直下地震をはじめとする大規模地震が危惧されています。2月に発生したトルコ・シリア大地震では、多くの方がニュースを通じて被害の様子を目の当たりにしたと存じますが、東京都でも同様の被害が発生する可能性があります。

また、約1,400万人が生活する東京都だからこそ抱える大きな課題もあります。それは、首都直下地震が発生した際に、約299万人にのぼると想定されている“避難者”の多さです。過去の災害では、大災害から生き延びたにも関わらず、避難所生活等による身体的・精神的負担により、エコノミークラス症候群などの疾病や持病の悪化によって亡くなってしまった方々が多々いました。これは「災害関連死」と呼ばれ、平成28年に発生した熊本地震では、建物倒壊などが要因となる「直接死」で亡くなられた方の約4倍にのぼるなど、近年の災害で特に課題となっています。

生き延びた命を未来に繋げるために、赤十字は、医療チームによる避難所の巡回診療や保健衛生指導、避難所環境改善のための救援物資提供、そして被災者の生活不安やストレスを軽減する「こころのケア」などの活動を行っております。これらの活動は皆様からのご寄付により支えられており、災害から1人でも多くの命を救うため、何卒お力添えを賜りたく、お願いを申し上げます。

なお、ご芳情賜りました赤十字活動資金には、「**税制上の優遇措置**」が講じられますことを申し添えます。（詳細は、同封にてご案内の「**税制上の優遇措置**」をご参照ください。）

末筆ではございますが、貴社のますますのご発展を心からお祈り申し上げます。

謹白

※なお、本状と行き違いでご寄付をいただいております場合は、何卒ご容赦下さいますようお願い申し上げます。